

津波防災の日イベント

「日常生活のなかにある 防災をめざして」

和歌山県田辺市

文里町内会 自主防災会

2018.11.5(川崎市)

文里地区の状況

人口1661人849世帯 町内会482個(56%)

三連動地震M8.7

最大津波高 7m
到達時間25分

南海トラフの地震M9.1

最大津波高12m
到達時間15分

町内の多くが津波浸水域

所



県営住宅屋上

(津波避難タワー)



過去の津波被害

1946.12.21(昭和21年)昭和南海地震(M8.0)(72年前)

1854.12.23(旧暦11月5日)安政地震(M8.4) (164年前)

1707年 宝永地震(M8.4-8.6推定) (311年前)

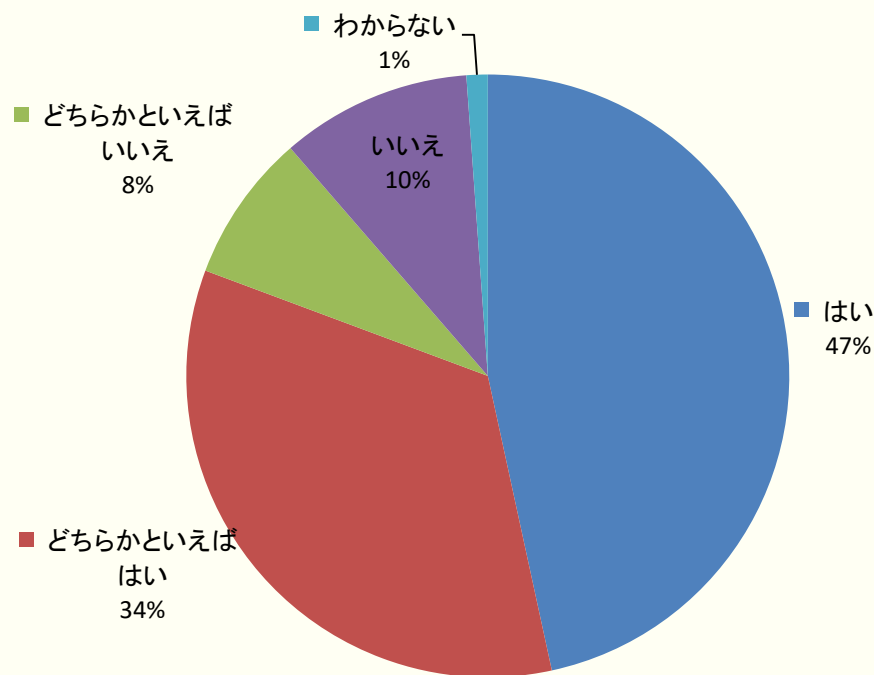
昭和南海津波後
の文里湾

文里地区での
犠牲者37名



住民意識アンケート 7月

地震後の津波が予想されるとき、自分の避難について不安を持っている。



8割以上の人
が津波避難に不安

講演会・ワークショップ 8月

講師 吉川忠寛氏 「東日本大震災の教訓に学ぶ」
岩手県大槌町安渡町内会の取り組みを手がかりに

- 津波の前に地震被害が心配
- 逃げようとしていない人への対応
- 何とか支援できないか。でも、我が身が危険になることにどう対処すれよいか。
- 地区防災計画とともに、ハード面の整備も必要。
- 避難訓練はいつもの限られた人。
- 助けに来てくれる人の命のために、私は逃げる。



文里地区のみなさん
こんにちは

岩手県大槌町
安渡地区
町内会長
佐々木慶一様

応援ビデオメッセージ

ここまでは来ないと
逃げなかった

逃げたくても
逃げられなかった
要援護者の方

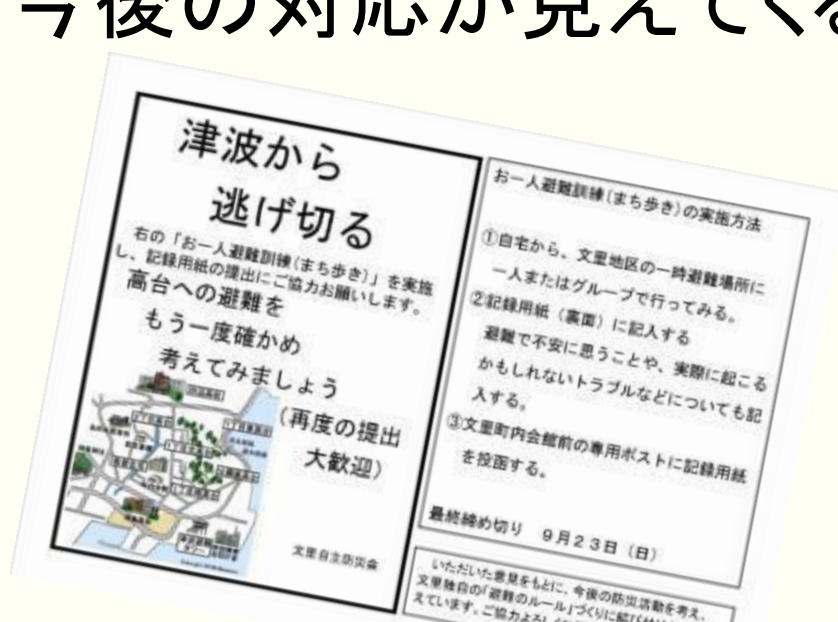
要援護者を助けよう
と犠牲になった方が
いた。

文里地区の皆さん
頑張ってください

お一人避難訓練(まち歩き)実施

- 自分の時間でいつでも気軽に行える
- 避難経路とかかった時間を確かめる
- 心配なことや気づいたことをまとめる
- 備えておくことを考える

今後の対応が見えてくる。



「お一人避難訓練」(まち歩き)の記録用紙

◎お一人で避難訓練を実施し、以下にご記入いただき、8月26日(日)までに、町内会館前専用ポストにご提出下さい(グループでの実施も可)。

① 避難を開始する場所の住所	
② 一時避難場所の名称(「1丁目南高台」など)	
③ 避難に要した時間	分
④ 避難の方法(徒歩、車いすなど)	
⑤ 避難中の危険な場所(狭い道、古いブロック塀など)	
⑥ 災害時に役立つもの(非常用持出袋、備蓄倉庫、安全な道など)	
⑦ 避難で不安に感じること、その他	

お一人避難訓練で寄せられた意見と気づき

- 危険場所 ブロック塀 階段 狭い坂道 岩
- 役立つもの 持ち出し袋 水 ラジオ LEDライト
- 不安に感じること

自分の健康 自宅療養の方の体調

ミルクお湯紙おむつ 老人の避難

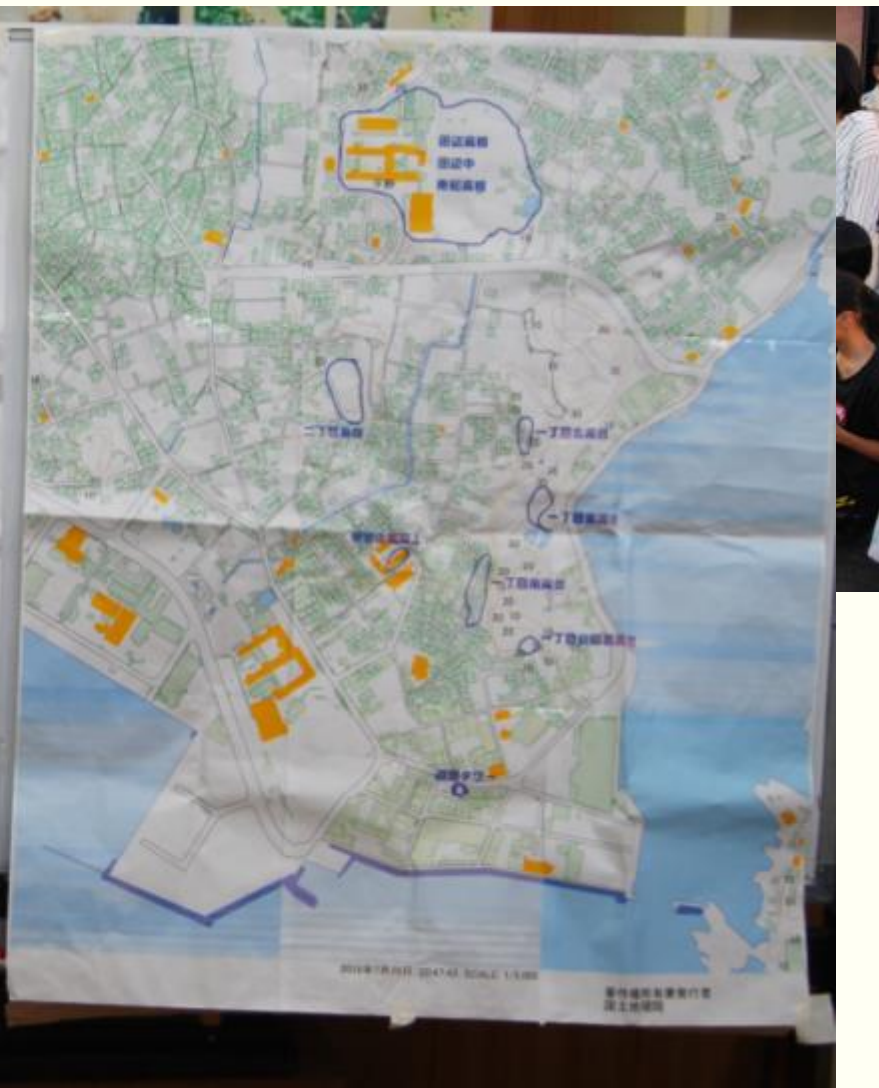
屋根がないこと 夜間の停電 トイレ問題

ペットを連れて避難 道路状況はどうなる

逃げ切れるか 家からの脱出 手助け困難

自分の足で考えながら歩いてイメージができる

夏まつり ぼうさいコーナー



話し合いの中から課題が明確になってくる

- いざというとき逃げられるか、
イメージがつかめない。
- 5分で何ができるか、時間に猶予はない。
- 予定の避難ルートは崩れていないか。
- 人が高台に集中してあふれてしまわないか。
- 持ち出し袋や、防寒対策、履き物は
本当に対応できるか。
- 求める助けにどう応えられるか。



二つの軸で整理して考える



日 常
の
備 え



自 助

共 助



災害後
の
対 応



文里津波避難のルール(案)

日常の備え

普段から 家族で相談
避難場所

みんなで 声かけあって
避難訓練

自 助

共 助

災害後の対応

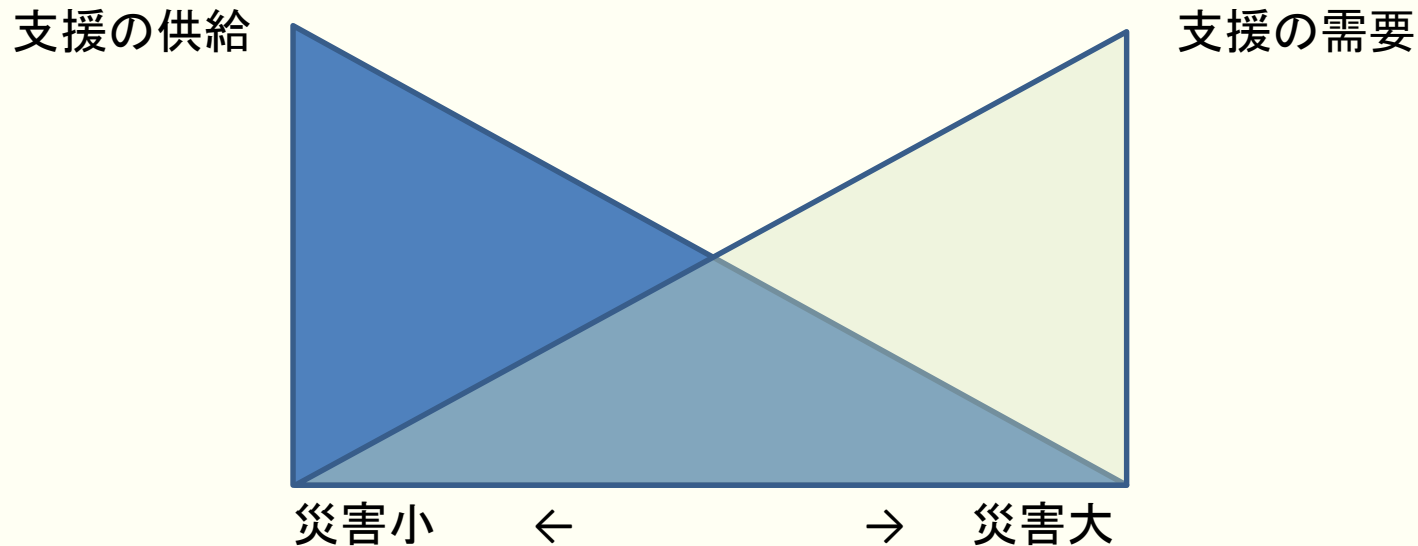
地震だ！5分で家を出ろ！

避難をあきらめない

声かけあって すすんで逃げろ

自分が助かる範囲で 人を助ける

「避難支援」の需要と供給



災害が大きいほど支援の需要は高まる（より多くの助けが必要になる）

災害が大きいほど支援の供給は少なくなる（他人を助ける余裕はなくなる）

☆助けてほしいときほど、助けは及びにくい。

自助（家族を含む）を高める工夫。（需要のレベルを下げる） 共助 互助の工夫
支援を受ける工夫と対応の工夫→→→助け合いの機会が生まれる。

共助としての自主防災会

日常の中にある「防災」と啓発活動。
そして、いざという時にスイッチが入るしくみ。
各自の津波避難力を高めるはたらきかけ。
連携の大切さ

ご近所で、地域コミュニティ組織として
学校や公民館（町内高校との合同避難訓練）
行政へのはたらきかけ
課題を設定した避難訓練

まずは、津波避難から……………。



今後の活動として

11月 避難のルールスローガンを広め啓発

シールを作って配布
町内に看板設置

1月 避難訓練
課題を設定した避難
通行できない
がけ崩れ
助けながらの避難
「津波避難のルール」の検証

2月 防災まつり
ウォークラリー
資料展示 非常食体験

3月 文里地区防災計画(案)策定

文里 津波避難のルール
普段から家族で相談、避難場所
みんなで声かけあつて避難訓練
地震だ！5分で家を出る！
避難をあきらめない！
声かけあつてすすんで逃げろ！
自分が助かる範囲で人を助ける
文里町内会



地震だ！5分で家を出ろ！

声かけあってすぐ逃げろ！ みんな避難をあきらめない！

自分が助かる範囲で人を助けよう！



普段から家族で相談、避難場所

みんなで声かけあって避難訓練



文里町内会

ご静聴ありがとうございました